

# 次代を創る 起業家列伝

▽▽95

ゴキブリ、ハエ、蚊、ダニなど衛生上悪く、人の健康への影響も懸念される虫は、衛生害虫と呼ばれ、駆除するのに殺虫剤が広く使われる。

だが、化学物質でできた合成殺虫剤は、虫が殺虫剤に対する耐性を強めるとともに、一部、殺虫剤自体が人体に与える影響も問題だと指摘されている。

こうした虫の駆除剤を、植物から抽出した成分を100%使用することにより開発しているのが、日本エコロジアだ。使用しているのは、東南アジアから中近東に自生するインドセンダンといわれる樹木「ニーム」の実から採った油など。

日本エコロジア

西嶋 康祐社長

《にしじま・こうすけ》上智大外国語卒。89年オランダの日本企業誘致機関に入所。外資系投資顧問会社、会計事務所、ベンチャーキャピタルなどを経て、03年11月日本エコロジア設立。40歳。福岡県出身。



「インドではニームの葉をお茶にして飲んでい

るほどで、人への影響は心配ない」と西嶋康祐社長は説明しながら、「従来、効果が出るのに四〜五日かかっていたのに対して、即効性のある製品が開発できたので、本格的に売り出したい」と意欲をみせる。

西嶋社長によれば、「ハエや蚊には瞬時、ゴキブリにも十秒、一分で効果が出る」という。

ニームは虫が実を食べると二週間ほどで死んだり、実から採った油を農作物の周囲に塗ると、虫が忌避することで知られ、これまでも害虫駆除剤に利用されている。

## 植物成分100%の即効性殺虫剤

薄く塗るだけで済む。殺虫剤を手で塗り、1〜2回、数時間、効果が得られる」と説明する西嶋康祐社長と片岡長昭・研究担当取締役

級生で、この両氏に、英愛氏の知り合いでミノルタ（現コニカミノルタホールディングス）の元技術者の片岡長昭氏が加わり、設立された。

光学から殺虫剤に研究分野を変えた片岡氏は、とくに「他の植物油を混ぜ、相乗効果を高める」となどで即効性を実現させた」と強調する。

現在、薬事法の認可を申請中で、同法の対象と

て抗菌、消臭用としても売ります。

社歴が浅いベンチャー企業であることから、研究開発に力を入れ、「代理店経由やOEM（相手先ブランドによる生産）で販売したい」と西嶋社長は提携による市場拡大を目指している。

（ジャーナリスト 松浦利幸）

【会社概要】▽本社 東京都渋谷区代官山町20の23 1606 (03) 3780・4070  
▽従業員 5人 ▽資本金 3500万円

木、金曜日掲載